

～令和3年11月 データから見た業界の動き～

11月報告のポイント

経済活動の回復を全業種で実感 しかし、原材料等の高騰・不足から収益に結びつかず

■ 概 況

11月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高+20ポイント（前年同月比+60）、収益状況▲4ポイント（前年同月比+36）、景況感▲6ポイント（前年同月比+34）となり、経済活動の回復傾向を示している。

業種別では、製造業は売上高+15（前年同月比+65）、収益状況▲15（前年同月比+45）、景況感▲10（前年同月比+45）となった。水産物加工、菓子、めん類製造業では新型コロナウイルス感染者の減少傾向から売上は30%前後増加、繊維製品製造（織物）からも人流の増加からホテル業界からの需要が増加しつつありインテリア部門の動きがでてきたとの報告があった。一方、木材製品製造、家具製造、機械器具製造からは、材料価格の高騰・不足が続いていることから、売上の回復とリンクしない収益の悪化が顕著となり、厳しい経営状況が続くとの声が多い。

非製造業では、売上高+23（前年同月比+56）、収益状況+3（前年同月比+30）、景況感▲3（前年同月比+27）、ジュエリー卸売業では人出の増加から売上が回復、堅調に推移しているとの報告がされた。食料品小売（青果、食肉、水産物）、商店街、宿泊業からも人の動きが活発になり一般消費は増加傾向にあるとの報告があった反面、大勢での飲食は敬遠される傾向が強く、卸売による大きな売上にはつながらない様子である。

建設業においては工事量や請負金額に対前年比での大きな変化は無いが、型枠工事における建築木材や釘等は半年で3割上昇、鉄構における鋼材価格も高騰と在庫不足が続いている。また、半導体を必要とする機器の納入目処が立たず、工事の遅延も発生しているとの報告（電気工事）がされている。

11月は県内の新型コロナウイルス感染症新規発症者数ゼロの日が多く、全国を見ても感染者数が減少傾向にあった。下旬には感染力の強い変異株が国内で初めて確認されるなど、今後の感染者数拡大の懸念もあったが、経済の回復基調を感じ取れる月となった。しかし燃料価格をはじめとする事業活動における原材料の高騰があり、価格の転嫁ができない場合には収益の悪化から事業継続が危ぶまれるほどの影響がある（型枠工事）との意見があった。

また、事業活動が急激に回復することにより、人手不足を訴える声（美容業、警備業）も大きくなっている。仕事量が安定的に確保できない中でも働き方改革やハラスメント対策など職場環境や就労環境の改善を図らなければならない中小企業・小規模事業者がまだまだ多く存在し、中央会としても情報提供に努めているところである。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数が減少していることから、業務用及びギフト関係の商品が好調で、前年同月比122%となった。さらに、前々年の同月と比べても110%となっており、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準を上回った。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>売り上げ好調で前年同月比130%となったが、小麦や砂糖などの原材料価格が高騰しており、今後の動きを注視している。</p>
<p>食料品 (麺類製造)</p>	<p>秋の観光シーズンに新型コロナウイルス感染者数が減少したことから、前年同月と比べ売り上げが約30%増加した。しかし、例年11月は忙しい時期であるにもかかわらず感染症拡大前の売り上げには戻っていない。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>消費者の動きなど新型コロナウイルスの影響は多少あるが、年末の繁忙期に入り工場は順調に稼働している。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>インテリア部門では、関西方面のホテル用の受注があり凝ったものが多い。傘地部門では、前月受注分の納品が終わった後の受注はない。ネクタイ部門では来春用のネクタイの仕込みを始めているが、新型コロナウイルスの変異株が国内で確認されたことから先行きを心配している。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の変異株と原油価格高騰が、景気に影響を及ぼすことを懸念している。12月7日(火)、8日(水)に開催される展示会・商談会の「プレミアム テキスタイル ジャパン2022 Autumn/Winter」に期待している。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>ウッドショックの影響で、輸入材の流通が減少した分内地材の需要が高まったが生産が追いついていない。合板用の木材が建築用材として使用されるようになり、今は合板用木材が不足してきている。</p>
<p>家具製造</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の沈静化により受注が増加してきたが、一時的なものだと捉えている。今後の見通しはまだ楽観できない。海外生産品の欠品により補完生産が発生し、組合員の中には人材不足が売上確保の大きな足枷となっているなど人材の確保が緊急課題となっている。</p>

<p>窯業・土石 (山碎石)</p>	<p>収益が前年同月比▲14%と大きく悪化していることから、景気後退が長引いていると感じている。10月は出水期で採取量が減るため、収益は落ち込むが11月は前月と比較しても6%しか増加していない。前年10月と翌11月との比較は19%の増加となっていることから伸び率はかなり小さく、この状況が続くと経営が成り立たなくなる組合員が出ることを懸念している。既に発注され着手している工事の進捗の回復と計画工事箇所の早期発注を望む。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>前年同月と比べ、売上げが30%程度増加した。しかし、人手不足と材料不足に陥っており、すべての製品において納期未定状態となっていることから、先行きに不安を感じている。</p>
<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>全体の売上げは回復傾向にあり前年同月比10%の増加となったが、依然半導体部品関連が不足し生産ラインが縮小されていることに加え、他の原材料などが高騰していることから、今後も厳しい経営状況が続くと考えている。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>前年11月の売上げが過去最低だったことから、今年は40%程の増加となった。収益も30%程回復しているが、資金繰りは厳しい状況が続いている。10月頃から受注が若干程度増加しているが、材料等の値上げから収益が圧迫されている。状況を見ながら販売価格の見直しを考えている。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>インバーター、マルチメーター、漏電遮断器などの半導体を使用した部材の納期が遅れ、未完成品の在庫が増えている。納品できず売上げが回収できないサイクルに陥り、前年同月と比べて売上げ、収益ともに減少した。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げ、収益ともに増加したが、材料の値上がり分を販売価格に転嫁していくことが課題となっている。ようやく今後の受注が見通せるようになってきたが、感染症の変異株の拡大が仕事量に影響することを懸念している。</p>
<p>宝飾 (研磨)</p>	<p>9月開催予定だった展示会が11月開催に延期されたことから、前年同月と比べ売上げが増加した。</p>

● 非製造業

<p>卸 売 (自動車中古部品)</p>	<p>中古車部品の相場価格の好調は続いているが、廃車となる中古車が少ない状況は変わらない。その結果、収益が前年同月比▲30%となった。</p>
<p>卸 売 (ジュエリー)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染者数減少により人流が回復し、売り上げが堅調に推移している。</p>
<p>小 売 (青 果)</p>	<p>白菜、大根等は安値、ジャガイモ、玉ねぎは近年にない高値となった。新型コロナウイルスの感染者数が減少し飲食店に賑わいが出てきたが、売り上げの大幅な増加には至っていない。</p>
<p>小 売 (食 肉)</p>	<p>行楽地の売り上げは好調だが、会社関係の飲食会合が少ないため飲食店の売り上げは伸び悩んでいる。</p>
<p>小 売 (水産物)</p>	<p>売り上げは前年同月比14%の増加となった。しかし飲食店への卸しの動きが鈍く、山梨県特有の風習である「無尽」が回復していないことが原因だと考えている。</p>
<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年同月は、コロナ禍によるエアコンの特需的要素から売り上げ、収益ともに高い数値となったが、その反動として前年対比数値が大幅にダウンした。直近2年間の数値の平均は、例年のほぼ横ばいとなっている。</p>
<p>小 売 (ガソリン)</p>	<p>原油価格の高騰に対し国が進めている、激変緩和措置（ガソリン価格が全国平均で1リットルあたり170円を超えた場合に補助金を支給する）について、「店頭価格が下がる」という誤解が生じる恐れがある。措置が発令された場合の対応について勉強中である。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>新型コロナウイルスの変異株の発生により先行きに不安はあるものの、人が少しずつ動き出していると感じている。組合が管理する駐車場の売り上げは前年同月比142%と増加しているが、組合員の売り上げは1割ほど落ちていて、まだ厳しい状況が続いていると感じている。</p>

<p>宿 泊 業</p>	<p>徐々に人流が増えていると感じている。紅葉の時期で観光客が多く来県し、組合員の中には連日満室の施設がある。今後は、大人数が集まる集会、食事会などが開催されるようになることを期待している。</p>
<p>美 容 業</p>	<p>コロナ禍で営業活動が限られるため新規顧客の開拓が難しく、固定客をいかに大切に定着させていくかが当面の課題である。</p>
<p>一般廃棄物処理</p>	<p>山梨県ごみ処理広域化計画の中北・峡南エリアの広域処理センターにおける、自治体のごみの収集・運搬距離の延長によるコスト増大が課題となっていることに加え、来年度から施行される「プラスチック資源循環促進法」により処理コストの増加が追い打ちをかけ、自治体の中長期の予算編成の焦点が定まりづらくなっている。これらが次年度契約に影響を与えることを懸念している。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>土木建築工事が好調で、天候に恵まれたほか、工期の延長や24時間現場の増加、予定外の工事現場の増加などから警備員を総動員しても足りず、内勤者も現場に従事させるなどほぼ全員で対応する状況となり、売り上げや稼働率は大きく向上した。一方、フル稼働の反動は大きく、労働時間や労働日数が増加、今後の勤務調整に課題を残している。 警備業務の需要は依然として高いが、必要人数が確保できず受注を抑制している。</p>
<p>建 設 業 (総 合)</p>	<p>公共工事では前年同月と比べ件数は▲1%となったものの、請負金額では19%増加している。11月末累計でも件数は▲1.6%となっているが、請負金額では10%の増加となった。</p>
<p>建 設 業 (型 枠)</p>	<p>材料の高騰が続いている。型枠工事に不可欠なコンパネ、栈木、釘等の価格がこの半年間で3割ほど上昇し、加えて品不足となっている。しかし、今後工事の減少が予想されることから、工事単価は低下傾向にあり、このままだと赤字工事の増加や倒産する組合員が出ることが予想される。</p>
<p>建 設 業 (鉄 構)</p>	<p>全国的な鋼材価格の高騰と在庫不足が続いている。山梨県は全国的に見ても公共工事が極端に少なく、また、民間工事を含めた工事量も低減傾向が続いていることから、鉄骨需要の減少を懸念している。</p>
<p>設 備 工 事 (電 気 工 事)</p>	<p>材料の品薄や納期に不透明なものが出てきている。一部の機器において半導体不足の影響から納入時期の見通しがつかず、工事が遅延している現場もある。</p>

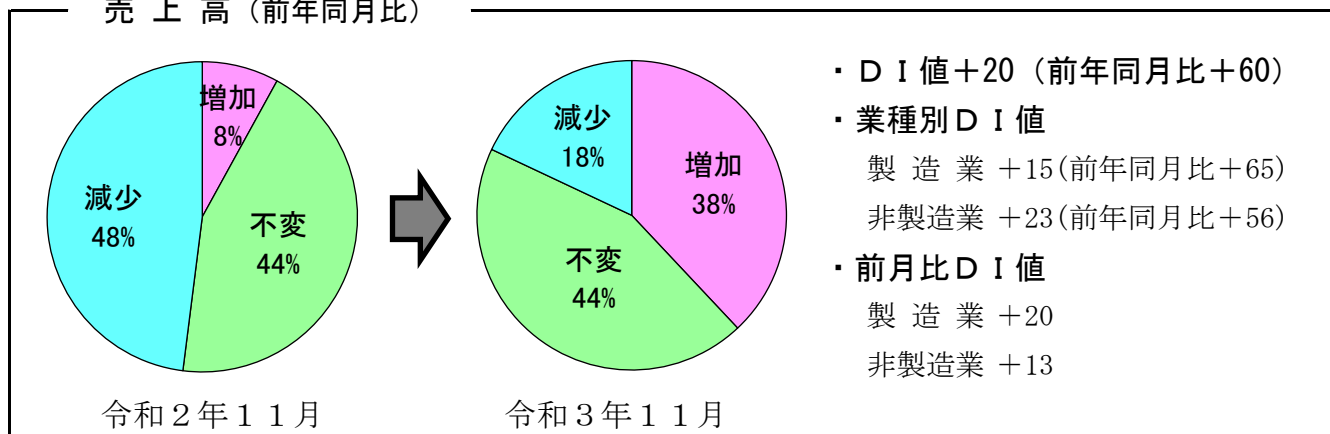
設備工事 (管設備)	設備の老朽化による更新工事の受注が増えたことにより、売上げが前年同月と比べ45%程増加した。この状況が暫く続くと予想しているため、長期的に対応していくための体制整備を検討しなければならない。
運 輸 (バ ス)	前年同月はG o T o トラベルキャンペーンが実施されていたため稼働が多く、その時期の売上げと比較すると▲20%となった。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

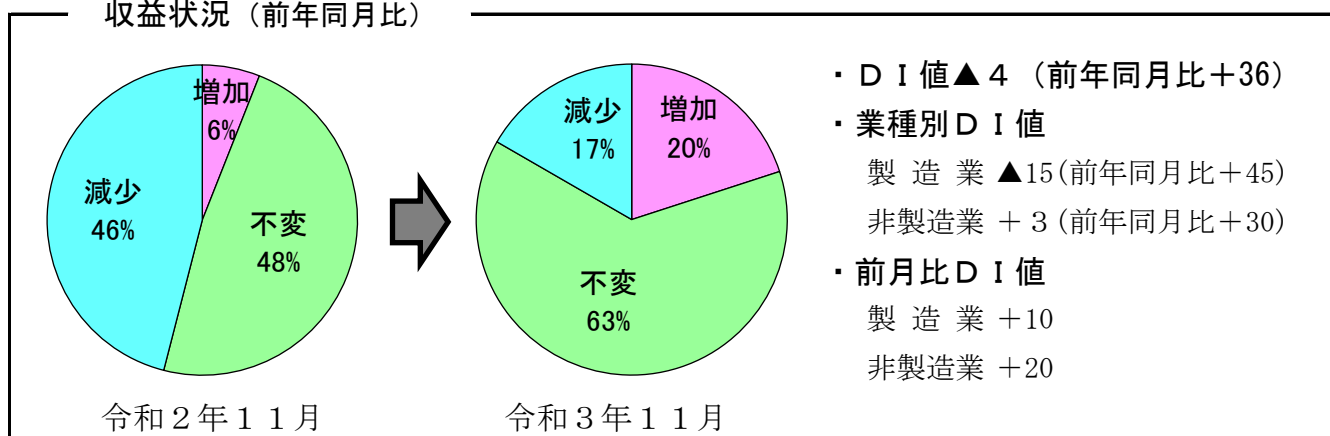
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2020/11	2021/10	2021/11	2020/11	2021/10	2021/11	2020/11	2021/10	2021/11
売 上 高	-50	-5	15	-33	10	23	-40	4	20
収 益 状 況	-60	-25	-15	-27	-17	3	-40	-20	-4
景 況 感	-55	-20	-10	-30	-3	-3	-40	-10	-6

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

売 上 高 (前年同月比)



収 益 状 況 (前年同月比)



景 況 感 (前年同月比)

